

令和7年度 4月定例会会議録

- ◎開催日時 令和7年4月25日（金） 午後3時00分～午後5時00分
- ◎場 所 伊那市役所 庁議室
- ◎出席委員 福與教育長、北原教育長職務代理人、田畑教育委員、黒河内教育委員、宮坂教育委員、
- ◎欠席委員 なし
- ◎出席職員 高嶋教育次長、唐澤学校教育課長、矢澤教育環境整備課長、柴生涯学習課長、北澤市誌編さん室長、小島社会教育指導員、小松指導主事、高嶋指導主事、村松こども部長、澁谷こども政策課長、宮下子育てサポート課長、北原教育総務係長

1 開 会

2 あいさつ 教育長

- ・市内小中学校の入学式を、無事滞りなく実施することができた。教育委員の皆さんにもご対応をいただき、感謝申し上げます。
- ・新年度が始まり、軽微なものを除けば、大きな事故もなく1ヶ月が過ぎようとしているが、学校、保護者、地域の皆さんのおかげである。
- ・4月1日より、市の組織再編により、教育委員会事務局も学校教育課、教育環境整備課、生涯学習課、市編さん室の3課1室となった。市長部局にもこども部が設置され、教育委員会との連携が欠かせないということで多くの事務局員、職員が子ども部との兼務体制となっている。教育委員会についても、今回よりこども部担当課長が出席し情報共有を図ることとしている。

3 自己紹介

4 委員の一言 北原職務代理人

5 会議事項

第1 教育長報告

- ・4月10日の伊那市校長会で、市長は、コロナ禍を通して最も近くにいる学校が子どもの変化を捉えるということの大切さ、伊那の地にある教育的な営みに触れて生きる力をつけることの大切さ、学校登山等についての思いをお話された。
- ・市長の思いを校長たちに伝えていただけることは、本当にありがたいことだと思いながら聞かせていただいた。

第2 議案

(1) 公民館運営審議会委員の委嘱について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
- ・質問、意見はなく、原案どおり決議された。

第3 協議事項

(1) 教育委員会推薦等による各種委員等について

- ・学校教育課長から資料（事務局案）に基づき説明
- ・質問、意見はなく、原案どおり決議された。

第4 報告事項

(1) こども部の設置等について

- ・こども部長から、組織再編の意義、今後の部局間の連携等について説明
- ・こども政策課長から、資料に基づき、こども計画の内容について説明
- ・教育委員から「こども部が想定している“こども”の定義とは。年齢や行政の守備範囲といった面でどこまでを想定しているのか。また、市民への周知はどのようになっているのか。」という旨の質問があり、こども政策課長から「従前、高校を卒業してからの支援の継続が不十分な面があり、学校に行かれてない方の支援も考慮していく必要があると考えている。ご意見を頂く中で、わかりやすい周知にも努めていきたい。」旨の回答があった。また、教育長から、「学童期の部分は、教育委員会とこども部の目指すところが重なる部分。委員の皆様とも意見交換をしていきたい。」旨の回答（補足）があった。

(2) 教育委員会各課関係行事予定について

- ・学校教育課長、生涯学習課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(3) 小中学校年間行事予定について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
- ・それぞれの委員から日程の合わない日については、後日調整することとした。

(4) 生涯学習基本構想 令和6年度達成状況について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
- ・教育長職務代理者から「学習活動推進基本施策の中にある情報化社会への対応についての内容は。」という旨の質問があり、生涯学習課長から「公民館で実施している情報セキュリティ研修の講座の開催・達成状況である。」旨の回答があった。これに対し、「3年間継続であるが、年々良くなっており、良い傾向と思う。」旨の意見があった。

(5) 生涯学習基本構想後期計画について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
- ・教育委員から「令和6年度達成状況の資料については、多くの事業がある中でやむを得ない面があるとは思いますが、具体的な内容の記載がなく、また、後期計画の資料内容との関連性について距離があると感じる。長期計画の実現のために用意されているプログラム自体が、適切かどうかといった検証も必要と思う。こうした部分についても、すでに議論をされていると思われるが、教育委員会の短い時間の中では、説明されていないことあるかと思うので、改めてお聞きしたいと思っている。」旨の質問があり、生涯学習課長から「説明、資料の中で見えにくい部分があり申し訳ない。今後は、意見を反映した資料、説明としていきたいと考えている。」旨の回答があった。
- ・教育委員から「生涯学習という大きなくくりの中で、中学生が大人と混ざって参加できる、大人との懸け橋となるような講座やプログラムを増やしていったらどうか。地域の働き手が減少している時代にあって、地域の河川清掃等、高齢者しか出席できない地区がでてきているが、その地区には中高生がいないわけではない。中高生はクラブ活動等大変ではあるが、社会参画のきっかけになるようなプログラムがあると、地域貢献に自然に携われるようになるのではないか。」旨の質問があり、生涯学習課長から「地域で子どもを育てるという考え方を学校教育において重視しているが、その思いが大人まで継続できるような講座の計画に力を入れていきたい。」旨の回答があった。

- (6) 社会人権同和教育の推進について
 - ・社会教育指導員から資料に基づき説明
(質問・意見なし)
- (7) 市誌編さん事業の進捗状況について
 - ・市誌編さん室長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)
- (8) 来月以降の文化施設の行事日程について
 - ・生涯学習課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)
- (9) 共催・後援について
 - ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(16) その他

○田畑委員、任期末を迎えるにあたって

- ・2013年の5月17日に任命され、子供の教育の六三三二制のように、成人した後に六三三の12年の勉強を一からやり直ささせていただいたと思っている。
- ・今の伊那市の教育の現状や課題を改めて我が事として受け止めさせていただいた。この12年は、今の田畑和樹を作っている要素も間違いない一つだったと思う。
- ・月1回の会議は、自分にとっても非常に大きな勉強させていただいたと、本当に心から教育委員構成していただいた皆様方に感謝したい。
- ・一番初めの教育長は久保村教育長その次に北原教育長、笠原教育長、そして今の教育長と、4人の教育長に仕えた。また、松田教育委員長についても、ストレートに教えをいただいた。
- ・教育委員会10年間で学んだことを財産に、教育行政からは離れるが、いち社会人として教育というものを、心の柱の一つに捉えつつ、社会活動していきたいと改めて思う。

6 その他

- (1) 来月の主な日程について
- (2) 6月以降の主な行事予定について
 - ・事務局から(1)から(2)まで、資料に基づき説明
(質問・意見なし)

7 閉会